

## 部活動指導

### (1) 目標

- ① 自らの適性や興味・関心等をより深く追求させる活動を通して、満足感や成就感を味わわせ、粘り強く取り組む意志やたくましい心身を育てる。
- ② 学年や学級の枠を超え、共通の目的や目標を追求する自主的・自発的な活動を通して、生徒一人一人の個性の伸長を図り、学習意欲の向上や責任感・連帯感を涵養する。

### (2) 生徒の実態

多くの生徒は個人やチームの目標を明確にし、意欲的に活動している。また、学年の枠を越え、互いに協力しながら活動に取り組んでいる。反面、進んで挨拶をすることや活動開始時刻・下校完了時刻を守ることにについて意識が低い生徒が見られ、活気ある雰囲気づくりやけじめのある活動をするに課題がある。

### (3) 本年度の重点

- ① 活動の目的や目標の共通理解を図り、互いに高め合い目標に向かって努力しようとする力や態度を育てる。
- ② 生徒と教師、異年齢生徒相互の好ましい人間関係を深め、所属感や連帯感、他への感謝の心を育む。

### (4) 活動の基本原則

- ・ 希望加入制とする。
- ※ 月曜日は部活動をしない日（ノ一部活動デイ）とする。
- ※ 公式戦が近い期間（1か月前）を除いて、土曜日又は日曜日のいずれかを休養日とする。
- ※ 大会等で土曜日・日曜日に連続して活動を実施した場合は、なるべく近い他の週に振替の休養日を設ける。
- ・ 活動時間は下記に定める時間の内とする。（開始時刻・下校完了時刻を守る。）

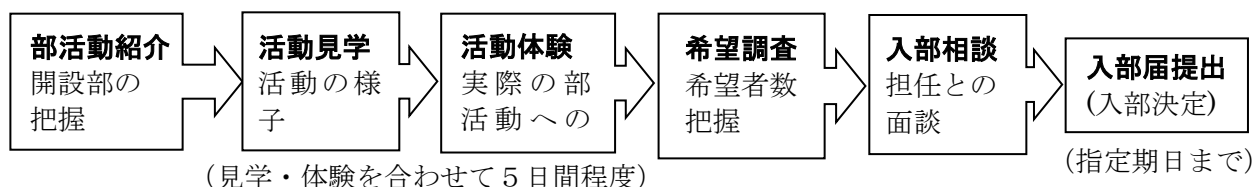
平日（火～金）	活動時間：16:00～16:45 下校完了時刻：17:00
休日・祝祭日	原則として、午前または午後の半日程度の活動とする。

- ※ 1日に30分までの延長を行うことができる。延長を行う場合は、希望参加制とし、事前に学校長の許可と保護者の承諾を得る。
- ※ 原則として、中間考査前は3日前から、期末考査前は5日前から部活動を停止し、最終日の翌日から再開する。ただし、大会等の予定により保護者の承諾及び学校長の承認を得て、60分程度の活動を行う場合がある。
- ※ 日没、天候、学校行事、生徒の健康状況等により、活動時間を変更したり、停止する期間を設けたりすることがある。
- ※ 部活動指導員が了解すれば、2時間程度の活動をすることができる。

#### <長期休業中の活動について>

長期休業中の土曜日、日曜日は、原則として活動しない。ブロック大会、全国大会等への出場のため実施する場合は保護者に連絡し、振替の休みを設ける。活動日数については、生徒の心身の負担を考慮し、適切に設定する。

(5) 入部指導



(6) 部活動別生徒数

部 名	対象	部 員 数					
		1年	2年	3年	小計	合計	
陸上競技	男	5	1	3	9	16	
	女	4	2	1	7		
ソフトボール	女	0	9	5	14	14	
ソフトテニス	女	5	4	6	15	15	
バスケットボール	男	4	9	6	19	19	
卓球	男	8	5	1	14	23	
	女	2	3	4	9		
柔道	男	2	2	5	9	9	
吹奏楽	男	2	0	1	3	13	
	女	0	3	7	18		
美術・生活文化	美術コース	男	0	1	0	1	16
		女	4	6	5	15	
	生活文化コース	男	0	2	3	5	11
		女	0	1	5	6	
バレーボール	男	4	5	2	11	11	

(7) 特設活動

特設部名	対 象	部 員 数
スキー	男女	7月募集
駅伝	男女	7月募集

特設部名	部 員 数			
	1年	2年	3年	合計
水泳	1	3	1	5

※ 学校から引率者が出る大会は、吉江中学校の名前を使用する大会とする。

(8) 部長会

- 主体的な部活動の運営のため、各部長と特設部の代表生徒で構成する。

(9) その他

- 毎週水曜日の放課後は、必要に応じて生徒会活動等優先日とする。ただし、活動する場合は、事前に生徒会担当を通じて、部活動担当に報告する。
- 運動部で部員数が不足し大会等に出場できない場合は、中体連が主催又は共催する大会に限り、他の部より応援出場者を要請して出場できるものとする。
- (7)以外の特設活動に所属し、大会参加を希望するものは学校からは引率・指導者はないものとする。
- 部室の管理は各部で責任をもって行い、日頃から清掃活動等、整理整頓を心がける。
- 本年度の部活動拠点校化対象のバドミントン、サッカー、野球を選択することも可とする。